

平成16年度会津若松市

# 男女共同参画推進事業報告書

第3次会津若松市男女共同参画推進プランに基づく事業・・・P1～P14

会津若松市男女共同参画推進条例に基づく事業・・・P15

その他の事業・・・P15



# 計画の体系

## 基本理念

すべての市民が、性別にかかわらず一人の人間として尊重され、その個性や能力を十分に発揮することができ、あらゆる分野にともに参画し、支え合い、責任を担う社会を目指します。

## 《基本目標》

男女平等のための意識づくり

男女共同参画の社会環境づくり

人権が侵害されることのない社会づくり

## 《施策の方向性》

- 1 反発・誤解解消
- 2 子どもの基点化
- 3 男性のチャレンジ / 家族再発見
- 4 女性のステップアップ
- 5 国際理解の推進
- 6 市民主役化
- 7 女性の就労条件、不平等の解消
- 8 女性のチャレンジ支援
- 9 男女共同参画推進活動のネットワーク化
- 10 市役所が率先していく改革
- 11 拠点施設の整備
- 12 調査 / 情報収集と提供
- 13 権利擁護

## 《重点事業》

- 1 パンフレット・情報紙等の作成
- 2 関係図書・ビデオの整備
- 3 出前講座の実施
- 4 混合名簿の推進
- 5 男女平等に関する作文募集
- 6 教育の場における男女平等教育の推進
- 7 子ども達に向けた共同プログラムの開発
- 8 家事・育児再評価事業
- 9 おもしろい・楽しい、家事育児事業
- 10 家族再発見事業
- 11 みんなで子育て事業
- 12 家族経営協定推進事業
- 13 女性の人材育成
- 14 女性の人材情報の整備
- 15 審議会等の女性登用促進
- 16 在住外国人との異文化交流事業
- 17 NPO活動支援事業
- 18 アイディア募集
- 19 事業主理解促進
- 20 優良企業表彰
- 21 労働に関するあらゆる情報の提供
- 22 活躍する女性を顕彰
- 23 女性の就業支援
- 24 農村女性の活動支援
- 25 男女共同参画推進活動のネットワーク化
- 26 男女共同参画推進員の設置
- 27 職員研修の実施
- 28 女性職員のエンパワーメントの促進
- 29 女性職員登用の促進
- 30 セクシュアル・ハラスメント防止事業
- 31 拠点となる機能の整備
- 32 市民意識調査・実態調査の実施
- 33 統計資料等の整備
- 34 刊行物の表現の見直し
- 35 女性への暴力の根絶
- 36 相談窓口の拡充
- 37 リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識の浸透

進行管理「通知表」

5年間の計画の内容について、段階評価し公表していく

市民意識調査  
事業の進捗状況についての調査  
男女共同参画データブック作成

計画推進の視点

女性のエンパワーメントの拡大の視点

ジェンダーに敏感な視点

男女の人権尊重の視点

# (1) 第3次会津若松市男女共同参画推進プランの進捗状況

実施区分/A:今後も引き続き実施する B:平成17年度新規事業 C:平成18年度以降に事業予定 D:引き続き検討 E:平成16年度事業完了

基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課	
I 男女平等のための意識づくり	1 反発・誤解解消	パンフレット・情報紙等の作成	(1)パンフレットの作成	①啓発パンフレットの作成 「こころのガイドブック～男女が“ともに生きる”社会をめざして～」5000部作成	420	E		企画調整課	
				②条例パンフレット作成 「会津若松市男女共同参画推進条例」ダイジェスト版5000部作成	300	E			
				③平成16年度の講座の中で上記パンフレットを活用し、啓発を図った。		A			
			(2)情報紙の作成	一般公募した7名の編集委員(ボランティア)が調査や取材等を行い、情報紙「ばーとなー」を作成し、市民の意識啓発を図った。	365	A			
			(3)情報メールの配信	男女共同参画情報メール配信サービスの開始 配信回数 19回	0	A			
			関係図書・ビデオの整備	「男女共同参画コーナー」の設置	今年度は、図書館内の男女共同参画関係図書及びビデオをコーナーに配置するとともに、寄附及び新規購入により拡充を図る。 (新規購入 ビデオ1本・図書11冊)	212	A		企画調整課 図書館 公民館 学校教育課
		一般室に男女共同参画コーナーを設置し、それに伴う関係図書、ビデオの整備を行った。			25	A			
						C			
						C			
			3	出前講座の実施	出前講座の実施	13回実施 受講人数 約463名	14	A	

基本目標	施策の方向性		重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	2 子どもの基点化	4	混合名簿の推進	男女混合名簿の重要性についての理解を広め、男女混合名簿導入を推進していく。	○各学校に対し混合名簿導入への促進 ・「学校における男女混合名簿の導入促進について」の文書により各学校へ依頼した。  ○導入校の割合(93.3%) 幼稚園 2園(2園中) 小学校 18校(18校中) 中学校 8校(10校中) } 28校(30校中)	0	A	H15年現状値40% ⇒100%	学校教育課
			男女混合名簿の作成	講座開催時の参加者名簿を男女混合名簿とした。	0	A	一箕公民館 東公民館		
			混合名簿の啓発	学校における男女平等教育の推進を図るため、男女混合名簿の重要性についての意識啓発及び導入促進の呼びかけを行った。	0	A	企画調整課		
		5	男女平等に関する作文募集	男女共同参画に関する作文コンクールの実施について周知	校長会において『男女平等に関する作文』募集についての協力依頼	0	A	学校教育課	
				作文コンクール受賞者と市長との座談会の実施及び市政だよりへの掲載			B	秘書広聴課	
			男女平等に関する作文について、優秀者を選定し表彰する	①市内の小中学校から男女平等に関する作文を募集し、「男女共同参画審議会」において厳正な審査の上、各部上位3点を入選とし男女共同参画都市宣言5周年記念行事で表彰した。 応募作品合計41作品(小学生低学年の部3点、小学生高学年の部11点、中学生の部27点) ②市内各小中学校に『男女平等に関する作文集』を配布し、この事業への理解とともに男女平等についての意識高揚を図った。 ③情報紙「ぱーとなー」へ記事を掲載し、市民へ周知した。	42	A	企画調整課		

基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課	
I 男女平等のための意識づくり	2 子どもの基点化	6 教育の場における男女平等教育の推進	男女平等教育の実施	小学生5、6年生を対象に、男女平等教育及び性教育について各小学校に講座希望を募った。		A	H15年現状値4校⇒小中学校全校	学校教育課	
				実施校 コース1:男女平等について考える(城南小) コース2:生きるための性教育(城南小、永和小、東山小) 授業回数 20回	24	A		企画調整課	
		7 子ども達に向けた共同プログラムの開発	男女共同参画に関連する指導資料を作成し、共通した授業展開を図る。	①性教育の手引き(案)を提示し、全小中学校において性教育の全体計画を作成した。 ②若松5中で性教育についての「学習指導案(例)」を作成し、学級担任が共通した授業を展開できるようにした。		A		学校教育課	
						D		企画調整課	
	3 男性のチャレンジ／ 家族再発見	8 家事・育児再評価事業					D		企画調整課
		9 おもしろい・楽しい、家事育児事業	男の生き方セミナー	仕事中心の生活を送る男性に、家庭、地域に目を向けることを働きかけ、自分の生き方について考えてもらうことを目的とした講座を実施した。 受講生:26名 3回実施(セミナー2回、料理1回) 〔実績〕 対象:成人男性 受講者数:26名 出席率:79.49%	0	E	公民館		
				上記講座への講師派遣	31	A	企画調整課		
		10 家族再発見事業	講座の開催	〔親子ふれあい広場〕 親が、豊かな心とたくましい身体を育て、子どもの成長に必要な親子のふれあいと参加者同士の交流を深めながら、さらにそこから生まれる和が社会参加の第一歩となり、子育てが楽しくなることをねらいとする。 講座回数 7回 延べ出席者数 154名	86	A	北公民館		

基本目標	施策の方向性		重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	3 男性のチャレンジ / 家族再発見	(10)	(家族再発見事業)	(講座の開催)	[シルバーパワークラブ] 高齢者教育「シルバーパワークラブ」において、男女共同参画推進研修会を実施。		A		一箕公民館
					[おやこエコ探検隊] 青少年教育「おやこエコ探検隊」の野外活動等を通して親子で一緒に体験する。	53	E		東公民館
					[わらべ塾] 学校や家庭、地域と連携し、社会体験や自然体験などの様々な活動を提供し、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性、「生きる力」を育む。	452	A		大戸公民館
					[わんぱくスクール'4] 小学5・6年生対象、「将来の夢」というテーマで、自分の夢や友達の夢について互いに語り合うというレクリエーション・ゲームの中から、ジェンダー・バイアスに気づかせる。	7	A		南公民館
					高齢者講座 「あいづわくわく学園」 高齢者自らが意欲的に、仲間づくりの輪を広げ、健康と生きがいの目標を見出し、高齢社会におけるリーダーとして活躍できる人材を育てる。 講座回数：2回、参加者数：49名	21	A		高齢福祉課
					「ゆめ寺子屋」 教養・健康講座、ボランティア活動を通して、心身の健康保持、生きがいづくり、社会参加を促進する。 ➤男女共同参画講座 講師：天野和彦（県男女共生センター社会教育指導主事） 参加者：167名				
	各講座等への講師派遣		A	企画調整課					

基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課	
I 男女平等のための意識づくり	3 男性のチャレンジ / 家族再発見	みんなで子育て事業	講座開催	P T A研修会 市内各小・中学校のP T Aを対象に実施しているP T A研修会の中で、「子どもを健やかに育てるために」というテーマについて男女共同参画の視点に立ち学習する。		B		生涯学習課	
				家族再発見事業内容と兼ねる		A		公民館	
			パンフレットの作成			C		健康増進課 企画調整課	
			ファミリーサポート事業	ファミリーサポート設立へ向けての支援		A		児童家庭課	
		12	家族経営協定推進事業	家族経営協定の推進	男性と女性が対等な立場で協力関係を保ちながら、「家族のコミュニケーションと暮らしづくり」「魅力的な農業経営づくり」「楽しく働くための環境づくり」などについて具体的な目標を定め、パートナーシップを発揮した農業経営を推進するための「家族経営協定」の締結に向け推進している。  現状値：H16年度 27件（市4件、旧北会津村23件） 目標値：58件（市28件、旧北会津村30件）	0	A	H15年現状値3件 ⇒28件	農政課
	4 女性のステップアップ	13	女性の人材育成	「女性のステップアップ講座」の開催	市内に住んでいる女性を対象に、エンパワーメントのための研修を開催 1講座6回 受講生29名	56	A		企画調整課

基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	4 女性のステップアップ	14 女性の人材情報の整備	人材リストの作成	<p>人材リストを作成し、情報を提供した。</p> <p>登録者 6名 〔活用状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録者への情報提供（県男女共同参画審議会委員公募、市男女共同参画審議会委員公募）</li> <li>市男女共同参画審議会委員公募へ応募3名、うち2名委員が選任</li> <li>市の各所属への情報提供</li> </ul> <p>中央公民館／中央公民館事業懇談会へ1名 生涯学習課／社会教育指導員1名 〔モニタリング指標〕</p> <p>※PTA会長における女性の割合 H14.10 18.9% ※町内会等における女性の割合 H15.4 0.8%</p>	0	A	※PTA会長における女性の割合 H14.10 18.9% ※町内会等における女性の割合 H15.4 0.8%	企画調整課
		15 審議会等の女性登用促進	審議会等の女性委員の登用	<p>市の審議会等における女性委員の割合を増やしていく。</p> <p>○平成16年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「附属機関の運営及び委員構成にかかる基準」の徹底を図りました。</li> <li>特に、改選の近づいた審議会等の所管課に対しては、女性委員の割合増加に努めるよう、文書により徹底を図った。</li> </ul> <p>○審議会等における女性委員の割合 〔平成17.4.1現在〕 23.6%（前年度比+3.4%）</p> <p>※割合増の要因としては、調査日時点を「防災会議」及び「水防協議会」が設置されていなかったことによるものであり、実質的には前年並み（当該2機関を除いた割合は23.4%）といえます。</p> <p>※実際に女性の適任者がいないという分野もあることから、今後は、30%前後の女性登用率を確保している機関の底上げが課題といえます。</p>	0	A	委員会・審議会等における女性委員の割合 H15年現状値 19.5% ⇒30% (H23)	人事課



基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	4 女性のステップアップ	(15) (審議会等の女性登用促進)	(審議会等の女性委員の登用)	○会津若松市男女共同参画審議会 委員構成：10人以内で組織し、男女同数となることを原則としている。 ○女性の人材情報を提供し、女性登用を図る。		A		企画調整課
				[各課での取り組み] ○会津若松市廃棄物処理運営委員会委員への女性登用 委嘱委員の区分枠の市民代表2名について、女性から1名以上委嘱するように努める。		A		廃棄物対策課
				○「会津若松市都市計画審議会」、「会津若松市景観審議会」委員の委嘱の際、女性の積極的登用を行った。また、要項を定めることにより、女性の登用の促進が図られるように努めた。		A		都市計画課
				○公民館事業懇談会構成員の女性登用		A		一箕公民館 東公民館
5 国際理解の推進	16	在住外国人との異文化交流事業	国際理解を深めるための講座の開催	○女性フレンドリークラブ 社会女性の変化に対応し、学習・実践活動を通し、地域づくり、家庭づくりの担い手として女性の主体的な生活態度を養う。平成16年度は「国際理解を深め交流を図る」を重点テーマとして3回の講座を行った。 延べ出席人数 34名	37	E		公民館
				○国際交流協会における事業を中心に、異文化交流事業など機会提供を行った。	0	A		企画調整課
男女共同参画の社会環境づくり	6 市民主役化	17 NPO活動支援事業	(1) 研修会の開催	パソコン研修会の開催(チラシの作成の仕方) 9団体14名の参加	30	A		企画調整課
				(2) 男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金の交付	[補助金の交付の実績] 4団体に計411,500円を交付(合計事業費1,184,000円/参加者660人)	412	A	
		18 アイデア募集	市民のアイデアを募集	市ホームページ電子会議室を使って、男女共同参画を推進するためのアイデアを募集した。	0	A	企画調整課	

基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
男女共同参画の社会環境づくり	7 女性の就労条件、不平等の解消	事業主理解促進	「男女共同参画推進状況報告書」の提出	入札参加資格審査申請及び更新の際に「男女共同参画推進状況報告書」の提出を求めている。併せて、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる企業についても一般公募。 平成16年12月1日現在 893件 提出率 99.9%	0	A	※男女の賃金格差 H14年度 64.0% (男性100の場合の女性の比率)	契約検査課 企画調整課
			事業主への意識啓発を図る	福島労働局や21世紀職業財団、福島県男女共生センターと連携し、関連ポスター、チラシ等で啓発している。 〔参考〕 ○男女の賃金格差 H15年度 67% (H15年度賃金構造基本統計調査：福島労働局調べ)	0	A	※「男女共同参画推進状況報告書」の提出率 95.1% (平成16年4月1日資格取得分)	商工課
		優良企業表彰	男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる企業等を表彰	一般企業に対して、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる企業を募集した。 ⇒商工会議所ニュースに掲載		A		商工課
				「男女共同参画推進状況報告書」(市内に事業所がある企業)の中から、「男女共同参画審議会」の中で厳正な書類審査を行い、2事業者を優良企業とし、男女共同参画都市宣言5周年記念式典において表彰状を授与した。	2	A	企画調整課	
	21	労働に関するあらゆる情報の提供	関連ポスターの掲示・パンフレットの送付	福島労働局や21世紀職業財団、福島県男女共生センターと連携し、関連ポスター、チラシ等で啓発している。	0	A	商工課	
	8 女性のチャレンジ支援	22	活躍する女性を顕彰	活躍する女性を市政だよりで公表する	女性に限定はしていないものの、市政だより「市民のページ」のコーナー「つくる」において、様々なジャンルで活躍している女性を紹介。	0	A	秘書広聴課
				情報の収集	様々な分野において活躍している女性の情報収集に務めた。	0	A	企画調整課

基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課	
男女共同参画の社会環境づくり	8 女性のチャレンジ支援	女性の就業支援	講習会等の開催	福島県男女共生センターと連携し、パソコン技術講習会を実施することにより、職業能力開発に支援策を講じているところであり、また、21世紀職業財団と連携し、再就職を支援するため、「再就職準備セミナー」を開催している。	0	A		商工課	
			情報の提供	「女性のチャレンジ支援」等、国、県等からの情報の周知。	0	A		企画調整課	
		農村女性の活動支援	経営参画のための技術向上を目的とした各種研修会等への参加	①「つけもの工房 純」(宮城県矢本町)を視察し、漬物の加工技術及び加工所運営について学ぶ。 主催：市 日時：6月23日 参加人数：13人 ②「あなたとわたしの共同参画推進セミナー(農林事務所主催)」へ参加し、家族経営協定への理解を深める。 ③「農産物直売に関する研修会(農林事務所主催)」及び農業短期大学校主催の各種研修会へ参加し、食品の安全に関する制度や、農作物の販売・加工技術を学ぶ。	0	A		農政課	
	9 男女共同参画推進活動のネットワーク化	25	男女共同参画推進活動のネットワーク化	(1) ネットワーク加入者の募集	ネットワーク加入者： 市民団体18 企業1 個人1	0	A		企画調整課
				(2) 情報の提供	市及び国、他自治体、他団体が開催する男女共同参画関連事業について情報の提供をする。(ネットワークニュースの配信及び郵送)	0	A		
				(3) 研修会の開催	ネットワークの活用方法について(パソコン研修会と同時開催)	0	A		

基本目標	施策の方向性		重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
男女共同参画の社会環境づくり	10 市役所が率先していく改革	26	男女共同参画推進員の設置	(1)男女共同参画推進員の設置	庁内の男女共同参画を推進するため、各所属に推進員を1名配置し、中核となり推進していく。		A		企画調整課 全庁
				(2)研修会への参加	○平成16年度地域リーダー養成講座「基礎コース」への参加 主催：福島県男女共生センター 参加人数：4名(男性3名、女性1名) ○平成16年度男女共同参画基礎講座への参加 主催：福島県男女共生センター 参加人数：2名(男性2名)	8	A		
				(3)調査・研究	○男女共同参画推進のためのアンケート調査 期間：平成16年7月26日～8月20日まで 回収結果：75.7% (標本数 970名 回収数 734名) 調査目的：男女共同参画の視点で、働きやすい職場環境に向けての現状の問題点と職員の意識を把握する。 ○「男女共同参画推進のためのアンケート調査に関するワークショップ」 内容：アンケート調査の結果内容をもとに、現状と問題点、より良い職場環境にするための改善策等についてのワークショップ。	0	A		
				(4)情報の発信	国、県の情報及び福島県男女共生センター広報誌「未来館NEWS」等を各所属へ配布し、職員への通知を図る。	0	A		
				(5)各職場における意識啓発	○グループ内打ち合わせの場において、職場内における男女共同参画の必要性等について話し合い、職員の意識向上が図られた。 ○パンフレット、情報紙等の職員回覧を行い、意識の啓発を図った。	0	A		

基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
男女共同参画の社会環境づくり	10市役所が率先していく改革	職員研修の実施	男女共同参画に関する研修の実施及び専門研修への派遣	庁内職員対象に男女共同参画に関する研修を実施し、意識の高揚を図る。 (再掲) 男女共同参画推進員の意識高揚を図るため、県男女共生センター主催の研修である「地域リーダー養成講座」及び「男女共同参画基礎講座」へ派遣。	20	A		人事課 企画調整課
			庁内職員研修の実施	一般職員研修に男女共同参画に関する研修を位置づけ。 採用2年目職員を対象とした研修会の中で、男女共同参画に関する講義を行い、意識の高揚を図った。	0	A		
		女性職員のエンパワーメントの促進	職員研修等において女性職員の参加促進を図る	庁内外主催の職員研修に女性職員を積極的に派遣する。 ※女性職員受講率 H15年度 35%、H16年度 30.9%	0	A	女性職員の研修会等参加率 H15年現状値26%⇒40%	人事課 企画調整課 関係各課
			女性職員のエンパワーメント研修会の実施	庁内女性職員を対象にエンパワーメント研修を実施し、意識の高揚とコミュニケーションやプレゼンテーションのスキルアップを図る。 6回シリーズの研修会を実施。参加者：33名	67	A		
		女性職員登用の促進	女性職員登用及び職域拡大に努める	積極的改善措置の一環として、女性登用を促進するとともに、さらに職域拡大に努めた。 〔参考〕 副主幹以上の女性職員数の推移 平成15年4月：25人(10.3%) 平成16年4月：25人(9.9%) 平成17年4月：39人(13.4%)	0	A	※H15年4月現在10.3% (副主幹以上)	人事課
		セクシュアル・ハラスメント防止事業	(1)セクシュアル・ハラスメント防止のための情報提供をする。	セクシュアル・ハラスメントに関する平成16年度の相談件数は0件であった。	0	A		人事課
			(2)セクシュアル・ハラスメントの実態調査をする。					

基本目標	施策の方向性	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
男女共同参画の社会環境づくり	1-1 拠点施設の整備	31 拠点となる機能の整備	情報の収集	拠点となる施設等の情報の収集		D		企画調整課 関係各課
	1-2 調査/情報収集と提供	32 市民意識調査・実態調査の実施		今後、計画の見直し等に合わせ、時期をみて実施。		C		企画調整課 関係各課
		33 統計資料等の整備	データブックの更新など	随時、情報収集を行いデータの更新を行った。		A		企画調整課 関係各課
人権が侵害されることのない社会づくり	1-3 権利擁護	34 刊行物の表現の見直し	(1)広報紙やパンフレットの表現の見直し	市で発行する広報紙等については、ガイドラインに沿った表現とする。		A		秘書広聴課 企画調整課 関係各課
			(2)情報提供	市のホームページまたは、庁内のホームページへガイドラインを掲載し周知した。				
	35 女性への暴力の根絶	第13回暴力追放市民大会でDVに関する特別講演の開催	第13回暴力追放市民大会 開催日：平成16年8月25日(水)午後1時30分から 場所：会津風雅堂 内容：特別講演 東京家政大学教授 落合恵子氏 演題「～DVを超えて～いのちの感受性」	648	A		生活課	
		DV防止キャンペーンの開催	DV防止キャンペーンを開催し、講演会及び相談会を実施した。 期日：平成16年11月20日(土) 参加人数47名 講演会： テーマ「女性に対する暴力について」 (講師) 福島県女性のための相談支援センター 堀 琴美氏 相談会： 相談者1名	21	A		児童家庭課 企画調整課	

基本目標	施策の方向性		重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
人権が侵害されることのない社会づくり	13 権利擁護	36	相談窓口の拡充	(1)一般相談	○日常生活での悩みや行政への問い合わせ等の相談受け付け 相談内容によって無料法律相談等専門的な相談の機会の照会、関係各課・各課相談機関相互と連携を図り対応している。	0	A		生活課
				(2)専門相談	○消費生活相談 ・専門の相談員による消費生活相談室を設置し実施している。平成17年度からは相談時間を拡大し、常時2名の相談員を配置し、電話・面接相談に対応するよう相談体制の充実を図った。 消費生活にかかわる相談としているが、家庭内暴力、金銭トラブル等の相談も多く、家庭相談員・女性相談員と連携を図って対処してきた。	3,754	A		
					○無料法律相談 ・県弁護士会津若松支部に委託に実施している。(年12回実施) 平成17年度からは、1回の相談定員を2名増員した。	756	A		
					○特設人権相談 ・若松人権擁護委員協議会の協力により実施。(年6回)	0	A		
					○行政相談 ・総務省委嘱行政相談員の協力により実施。(年6回)	0	A		児童家庭課
					○女性相談員の配置 ・DV等の問題が生じたとき、的確かつ迅速に対応するための相談室を設置し、女性相談員を配置している	2,185	A		
					○男女共同参画苦情処理委員会 会津若松市男女共同参画推進条例に基づく附属機関として設置。 処理件数：1件 ➤鶴城小学校児童トイレの男女共用(男女別優先)の改善について	98	A		企画調整課

基本目標	施策の方向性		重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額 (千円)	実施 区分	目標(期 待)値	担当課
人権が侵害されることのない社会づくり	13 権利擁護	37	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識の浸透	○講座の開催	小学校を対象に性教育を実施：「こどもの人生講座」の『生きるための性教育』 〔3校〕 ○城南小学校 6年 ○永和小学校 5、6年 ○東山小学校 5年	0	A		健康増進課 企画調整課 学校教育課
					②思春期保健学習会の実施 依頼があった学校に性教育を実施 〔4校〕 ○松長小学校6年とその保護者（学年行事として実施） ○鶴城小学校5年とその保護者（学年行事として実施） ○日新小学校6年 ○若松二中2年	0	A		健康増進課



## 2. 条例に基づく付属機関の設置

機 関 名	内 容	備 考
会津若松市男女共同参画審議会	審議会開催：3回 会長及び副会長の選任について 審議事項：「男女平等に関する作文及び優良企業表彰に関する審査」などの重要事項について審議 報告事項：平成16年度事業及び男女共同参画推進プランの中間進捗状況について報告	委員：10名 構成：男女同数 学識経験者5名 一般公募 5名
会津若松市男女共同参画苦情処理委員会	1. 苦情申出件数 1件 2. 審議件数 1件 3. 委員会の回数 6回（現地調査1回も含む） 4. 件名「会津若松市鶴城小学校児童トイレの男女共用（男女別優先）の改善について」	委員：3名 構成： 弁護士1名 有識者2名

## 3. その他の事業

事 業 名	内 容	実施区分	決算額（千円）
会津若松市男女共同参画週間	期日：平成16年6月26、27日 内容：26日 原町市第3回福島県男女共生のつどいへ参加 参加人数21名 27日 講演会及び市民企画事業「朗読劇 あらしの夜に」 講師 二瓶由美子氏 参加人数70名	A	29
男女共同参画都市宣言5周年記念式典	期日：平成17年2月27日 会津文化センターにて 内容：式典：都市宣言唱和、男女平等に関する作文優秀者及び優良企業表彰式 記念講演会：中央大学法学部教授 広岡守穂氏 『妻が僕を変えた日』 市民ボランティア30名による企画・運営。当日参加人数：250名	E	447